

平成30年度第1回通常理事会、平成30年度定時評議員会議決

平成29年度 事業報告書

自 平成29年 4月 1日
至 平成30年 3月 31日

公益財団法人 仏教伝道協会

公益財団法人仏教伝道協会

平成29年度事業報告書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、定款に定める事業にそって各種事業を推進して参りました。

については、定款に定める事業に沿って「平成29年度事業報告」を致します。

平成29年4月1日より平成30年3月31日に至る公益財団法人仏教伝道協会の事業ならびに重要事項は次の通りである。

1. 公益目的事業報告（公1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して、世界中の一人でも多くの人に仏教を理解して頂き、豊かな人間性を育て、より良い社会の形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり、下記の2-1) から2-3) までの事業はつながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 仏教聖典の現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に「仏教思想」を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は46言語。また聖典を現代に即した内容にするため、平成29年度はモンゴル語(キリル文字)・ネパール語を改訂した。引き続き、ベンガル語・ゾンカ語・アラビア語等の改訂を進めている。

◇「仏教聖典」のホテル普及について

「仏教聖典」を世界の主要ホテルの客室に寄贈する運動は、国内のホテル13軒、海外のホテル6軒より新規申し込みを受けた。この他にミャンマー観光省、ホテル協会の協力を得て、ミャンマーのホテル1,054軒に新規に100,000冊(ミャンマー語・英語各50,000冊)を寄贈した。またこれを記念して、3月24日から4月2日にかけて、『仏教聖典』贈呈式ツアー(「仏教聖典贈呈式参列と仏跡参拝の旅」)を実施した。

新規・補充を合わせた平成29年度の寄贈冊数は、国内約17,000冊、海外約130,000冊となった。国内外あわせたホテル累計寄贈数は62カ国、

約 15,000軒・4,020,000冊に至った。

◇「ホテルマネジメントセミナー」開催について

ホテル関係者に当協会の活動を周知し、「仏教聖典」のホテル常備活動を推進するため、ホテル向け専門誌の発行やホテル経営者向けセミナーを行っている(株)オータパブリケーションズと共催し、ホテル経営者と僧侶が“おもてなし”について対談するセミナーを札幌、東京、福岡、京都の4会場で開催した。

◇「仏教聖典」の教育機関等への普及について

仏教的情操教育を喚起するための教育機関等への仏教聖典頒布活動は、平成29年度、大学・高校76校、保育施設178園を中心に、約40,000冊を寄贈した。平成24年度からの頒布開始以来、6年間の寄贈数累計は353,000冊、寄贈先は全国の仏教系大学・高校の約70%、138校に達した。また、名入れ印刷をした『和英対照仏教聖典』等を入学・卒業記念品として約10,300冊販売した。

海外では、インドのチベット系学校などに『チベット語仏教聖典』『英文仏教聖典』『ヒンディー語仏教聖典』計20,000冊を寄贈、その他国内外の団体等に約3,400冊を寄贈した。

◇『around TOKYO TEMPLE MAP』作成について

東京オリンピックに向けて年々増加する訪日外国人観光客の寺院観光需要に応えるため『around TOKYO TEMPLE MAP』を作成した。これを東京近郊のホテル・観光協会等に頒布し「仏教聖典」の寄贈推進と協会の認知度アップのためのツールとして活用を始めた。

◇『さどりの知恵を読むー仏教聖典副読本』頒布について

大学・高校等の教育現場で好評な『さどりの知恵を読むー仏教聖典副読本』の普及活動を積極的に行い、大学・高校等63校、保育施設18園に、約28,000冊を寄贈した。また、全国寺院へは、施本として11,000冊頒布した。

◇『さどりの言葉ー仏教聖典副読本』刊行について

『さどりの知恵を読むー仏教聖典副読本』を書店を通して広く一般への頒布を推進するため、『ブッダに学ぶ さどりの言葉ー仏教聖典副読本』と題し、カラー版として刊行した。

◇『ブッダのおしえ』普及について

『仏教聖典』の一部を抜粋、編集した小冊子『ブッダのおしえ』を全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等に約115,000冊（日本語版75,000冊、英語版40,000冊）寄贈した。2011年からの累計寄贈冊数は日本語版約620,000冊、英語版約164,000冊となった。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏にも仏教の真髄を理解していただくため「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を行っている。当協会の英訳大蔵経編集委員会と、米国仏教伝道協会の英訳大蔵経出版委員会との協力体制のもと、第1期分139典籍の刊行を進めている。これにより平成29年度は第52巻『弘明集(2)』、第53巻『梵網経』、第54巻『世親・僧肇・宗密による三つの小論』の3巻を出版、頒布した。翻訳完了した92典籍の内、88典籍を54巻にまとめ「英訳大蔵経」として出版している。残り47典籍は翻訳進行中である。

3. その他仏教書籍の出版、頒布事業に関する事項

◇「一日一訓カレンダー」と解説書「みちしるべ」普及について

仏教の精神文化の裾野を広げるため全国の寺院、学校、保育園等へ「一日一訓カレンダー」とその解説書を制作、頒布している。

平成29年度は、「一日一訓カレンダー」ハ正道シリーズ6冊目の「正精進」を刊行し、153,000部を頒布した。併せてカレンダー解説書—みちしるべ『正しい努力—正精進—』（執筆者 小山一行 武蔵野大学教授）を教化教材として刊行し、約41,000冊を全国の寺院に頒布した。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展について

写真を通してより多くの人びとに仏教に親しんでいただくため、「2019年一日一訓カレンダー」用の掲載写真を一般公募する「第4回フォトコンテスト—ほとけの心」を開催した。平成29年1月から8月末までの応募期間中に525件 1,740枚が集まり、平成29年9月4日に審査員会を開催。厳正な審査の上、入選作品32点を選定した。入選作品を掲載したカレンダーは平成30年6月発行予定。

また「第3回フォトコンテスト入選作品の写真展」を東京の築地本願寺（平成29年7月15日-7月30日）と京都の平等院（平成29年8月4日-8月27日）にて開催した。平等院でのオープニングセレモニーでは、カレンダーの文言の揮毫を依頼した鈴木猛利氏による「書道パフォーマンス」を披露した。期間中、約15万人の国内外の観光客が来場し、入選写真と文言の筆文字を鑑賞した。

◇「こころの絵本大賞」開催について

鈴木出版（株）協賛、毎日新聞社・（公社）日本仏教保育協会・（公財）全国青少年教化協議会後援のもと、家族・友だち・勇気・いのち・おもいやり・愛情をテーマに、子どもたちにこころの大切さを伝えるための絵本を広く一般から募集する第2回「こころの絵本大賞」を開催。平成29年9月19日審査員会にて、80点の応募作品の中から入選作品9点を決定した。

第2回大賞受賞作品「はしれ おじぞうさん」（作・絵ノさいとうじゅん）は、平成30年3月に『はしる おじぞうさん』と改題し刊行、全国の仏教系保育施設に5,000冊を頒布した。

また、第1回大賞受賞作品「ぼくのおまいりがなが—いわけ」を寺院、保育施設を中心に33,000冊頒布した。

◇『ブツダがせんせい一心を育てるこども仏教塾(特別版)』英訳について
子ども向け教材として、大きな反響があった『ブツダがせんせい一心を育てるこども仏教塾(特別版)』を海外でも普及するため、英訳版『Buddha is Our Teacher』の翻訳・制作を進めた。

◇『とってもやさしい はじめての仏教』普及について
初心者向けの冊子として仏教の歴史や宗派、仏教用語などを簡潔に解説した『とってもやさしい はじめての仏教』を寺院を中心に約88,000冊を寄贈。平成27年度からの累計寄贈冊数は約282,000冊となった。
また日本語版の好評を受け、英訳版『GUIDE TO BUDDHISM IN JAPAN』を作成した。日本語版の内容をより簡略にし、訪日観光客向けに日本の仏教寺院参拝作法、仏教に由来する日本文化を紹介する英文冊子として、15,000冊をホテル、観光案内所、寺院などに寄贈した。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

平成29年度は世界の有名大学や研究機関へ留学生奨学金応募要項を約220通送付、またホームページでの一般公募に合わせて21名の応募があり、平成29年2月8日に開催された仏教学者からなる外国人留学生奨学金審査委員会の公正な審査により、Katarzyna Marciniak氏(カタージナ・マルチニャク氏、ポーランド国籍、創価大学・国際仏教学高等研究所)、Juti Rakkitt Shraman氏(ジュティ・ラキット・シュラマン氏、バングラデシュ国籍、東京大学大学院)、Dörte Kamarid氏(ドゥルテ・カマリッド氏、ドイツ国籍、国際仏教学大学院大学)の3名に支給した。

◇日本人留学生奨学金制度について

海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学ぶ、日本人の学者・研究者または学生に対して日本人留学生奨学金制度を平成25年度から設けている。

平成29年度は日本の有名大学や研究機関へ留学生奨学金応募要項を約150通送付、またホームページでも一般公募し、結果4名(内1名辞退)の応募があり、平成28年12月19日に開催された仏教学者からなる日本人留学生奨学金審査委員会の公正な審査により、松岡寛子氏(ドイツ・ライプツィヒ大学)、西山亮氏(アメリカ・ボストン大学)の2名に支給した。

2. 顕彰事業に関する事項

国内外を問わず、仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった個人または団体に「仏教伝道文化賞」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる個人または団体に「仏教伝道文化賞沼田奨励賞」を授与する仏教伝道文化賞の表彰事業を行っている。

平成29年度は、4月下旬より仏教各宗派本山、仏教会、教務支所、仏教系学校、海外各仏教宗派教団本部等に約800通の推薦依頼書を送付、ホームページでも周知を図り、仏教伝道文化賞に9通、沼田奨励賞に9通の推薦書を受領した。

この推薦書をもとに、平成29年7月20日、仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、下記の2名に授与する事を決定、同年10月6日、第51回仏教伝道文化賞贈呈式を挙行し、賞金と記念の盾を贈り表彰した。

各受賞者名、受賞理由は次の通り。

仏教伝道文化賞

受賞者：石牟礼 道子 氏

受賞理由：1969年、水俣病患者の苦しみを描いた『苦海浄土 - わが水俣病』を刊行し、文明の病である水俣病を仏教（浄土教）の視点で世界に問題提起、その後も宗教性・芸術性の香り高い文学作品を残した功績。

仏教伝道文化賞沼田奨励賞

受賞者：釈 徹宗 氏

受賞理由：宗派を超えた伝道布教活動、テレビ、ラジオを通じた仏教思想の普及に尽力。福祉関係のNPO法人を運営する等、多岐にわたる活動を讃えて。

3. 助成事業に関する事項

◇団体等への助成について

当財団の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当財団の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行っている。平成29年度は、平成29年1月30日に開催された助成金審査委員会の決定に基づき以下の法人・団体に対して、国内1,350万円、海外550万円、US\$123,393、CA\$56,000、£30,000、€128,400、（海外分日本円換算総額43,406,769円）の助成を実施した。

助成先法人・団体

〈国内・団体支援助成〉

日本印度学仏教学会、彼岸寺、一般社団法人向源

〈国内・事業支援助成/仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動〉

一般社団法人真仁会、一般社団法人大日本仏教慈善会財団、心の相談室、公益財団法人全国教誨師連盟、宗教法人佛母寺、一般財団法人東京大学仏教青年会、東北大学大学院実践宗教学寄附講座、NPO法人日印交流を盛り上げる会、一般社団法人日本作曲家協議会、十夜フェス実行委員会、寺超会議実行委員会、全日本仏教青年会

〈国内・事業支援助成/仏教学術振興活動〉

龍谷大学龍谷ミュージアム、公益財団法人中村元東方研究所、公益財団法人国際シャンティボランティア会

〈国内・継続分〉

お寺おやつクラブ、インド哲学研究会

〈海外・事業支援/仏教学術振興活動〉

カリフォルニア大学バークレー校

〈海外・沼田仏教講座運営維持、新規開設支援助成〉

シカゴ大学神学部、ライデン大学

〈海外・継続分〉

ロンドン大学

米国仏教大学院

パシフィック・ブディスト・アカデミー

マギル大学、

ウィーン大学（「沼田仏教講座基金」）、ウィーン大学（「沼田仏教講座活動助成」）

ハンブルグ大学

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教聖典を初歩英語で学ぶ会について

一般の不特定多数の希望者を対象に、英語を通して仏教精神を学んでいただくことを目的とし、平成23年9月より月1回「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開催している。

平成29年度は、平成28年度から講座参加者の学習意欲向上と外国人観光客に英語で仏教を説明できる人材を育成することを目的とし開設した「仏教英語ガイド」プログラムを継続。平成28年度3級コース修了者が受講できる2級コースを加え、3級、2級それぞれ月1回の講座を実施した。

3級コースには80名が通年の講座に参加し、その内27名が3級テスト（筆記・口頭）を受験、26名が合格した。また、2級コースには38名が参加し、その内の35名が2級テスト（筆記・口頭）を受験、35名全員が合格した。2級コースのテストを合格した希望者には、都内寺院に英語ガイドボランティア適性者として推薦状を発行する。築地本願寺の英語ボランティア適任者として4名を推薦し、現在4名とも築地本願寺英語ボランティアとして活動している。

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが、「聞・思・修」一体となった仏道を自ら体験することによって、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年1回2泊3日にて実践布教研究会を開催している。

平成29年度は、6月6日から6月8日の間、伝道者としてのあるべき姿を研鑽すべく、「布教伝道～親鸞聖人に学ぶ～」をテーマに掲げ、全国より宗派を超えて53名の僧侶が参集。浄土真宗本願寺派本願寺・聞法会館を会場に「第47回実践布教研究会」を開催した。

初日の開講式では浄土真宗本願寺派大谷光淳ご門主よりお言葉を頂戴し、書院・飛雲閣等諸堂を拝観した。二日目は、龍谷ミュージアム見学その他、京都大学特任教授のカールベッカー氏、龍谷大学教授の深川宣暢氏、相愛大学教授の釈徹宗氏のご講話を拝聴した。分科会では「現代人に三世因果（来世）をどう説くか」をテーマに、参加者同士の活発な意見交換が行われ、宗派を越えて互いに親睦を深めるとともに研鑽を積んだ。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的として、一般の方がたを対象に、毎月1回専門家の講師を招き、「仏教聖典」を基本教材にした「仏教聖典を生活に活かす会」を主催運営している。平成29年度はご講師に一鳥正真氏、ケネス田中氏を招き、ホームページ等で告知し、計12回開催、のべ355名の参加があった。

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び、事業経営に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的として、主に事業経営者や社会人を対象に、毎月1回専門家の講師を招き、「仏教聖典」を基本教材にした「仏教聖典を経営に活かす会」を主催運営している。平成29年度はご講師に中野東禅氏、山田義俊氏を招き、案内状や当財団のホームページ等で告知し、8月9月を除く計10回開催、のべ260名の参加があった。

また生活に活かす会と合同の「秋季研修会」を開催。平成29年度は9月8日に江戸五色不動（6カ寺）と五百羅漢寺（勤行・法話・精進料理）を訪ね、参加者38名は研鑽を積みつつ、親睦を深めた。

◇働く人のための坐禅会について

平成25年度より新企画として、働く女性を対象に坐禅を通じて、仏教に親しみを持ってもらう事を目的に本講座を開始。平成26年度より男女問わず、一般の方がたを対象にして“働く人の坐禅会”として専任の講師を招き、「仏教聖典」を使用した法話20分、坐禅40分、茶話会30分の構成で開催している。

平成29年度は、前年度に引き続きご講師に阿 純章氏を招き、8月と12月を除く毎月1回、計10回開催し、年間講座参加者数は、131名であった。

◇BDKシンポジウムの開催について

平成29年度は下記の2回のシンポジウムを企画、実施した。

各シンポジウムの開催概要は下記の通り。

平成29年度第1回BDKシンポジウム

テーマ：「社会と向き合う仏教者」

開催日：平成29年7月11日（火）

時 間：18：00～20：00

講演者：玄 秀盛 氏（公益社団法人日本駆け込み寺代表）

家庭内暴力、虐待、ひきこもり、金銭トラブルなど、悩みに苦しむ人びとに寄り添い、その解決に全力で取り組む玄 秀盛氏を招き、ご本人と仏教の関わり、仏教界、宗教者への期待について講演いただいた。参加者76名。

平成29年度第2回BDKシンポジウム

テーマ：「宗教の未来を話そう」

開催日：平成30年2月27日（火）

時間：18：30～20：30

講演者：松山大耕 氏（臨済宗妙心寺退蔵院副住職）

晴佐久昌英 氏（カトリック上野教会・カトリック浅草教会 主任司祭）

矢野幸士 氏（浅草神社禰宜）

ナセル永野 氏（日本人ムスリム）

宗教の枠を越え、第一線で活躍している宗教者が集まり、現代社会における宗教の役割、今後の展望等について討論した。参加者142名。

◇BDK仏教ヨガ講座について

一般の方がたを対象に、身体と心の健康を養い、心や頭の整理をする場を持っていただくことを目的に、平成27年4月より月1回（毎月第1水曜日、午後7時から午後8時半まで）「BDK仏教ヨガ講座」を開催。講師は、浄土宗の僧侶で、ヨガインストラクターでもあるガッソ有香氏に依頼し、仏教の法話とヨガの実践を交えた講座を開催。結果、年間を通して440名の参加があった。また、毎月の定例講座とは別に、特別講座として平成29年8月27日（日）にBDK仏教ヨガ講座スピンオフ企画「仏教×ヨガをはじめよう」を実施。講師は、ガッソ有香氏と曹洞宗僧侶兼ヨガインストラクターの西川公祥氏に依頼し、浄土宗の念仏と曹洞宗の坐禅の二種類の行を体験しながら仏教とヨガの関係性を学ぶ場を設け、30名が参加した。

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

一般の方がたを対象に、日本仏教の各宗派の持つ基本的な教義や宗祖を理解していただくため、4月から11月まで（8月を除く）、月1回（午後7時から午後8時15分まで）、各宗派を代表する若手の僧侶を講師として招き、基本講義40分、法話30分の構成で開催し、毎回約70名が参加、年間講座参加者数は、500名であった。

各開催概要は以下の通り。

開催日程	取り扱った宗派・宗祖	講師名
4月26日（水）	天台宗・最澄	阿 純章 氏
5月31日（水）	真言宗・空海	松島龍戒 氏
6月28日（水）	浄土宗・法然	井上広法 氏
7月26日（水）	浄土真宗・親鸞	前田壽雄 氏
9月27日（水）	日蓮宗・日蓮	酒井菜法 氏
10月25日（水）	臨済宗・栄西	細川晋輔 氏
11月29日（水）	曹洞宗・道元	千葉公慈 氏

◇「特別坐禅会」開催について

一般の方がたを対象に、坐禅とヨガのワークショップを体験しながら仏教を学ぶ「特別坐禅会」を昨年に引き続き平成29年10月1日（日）曹洞宗大本山總持寺において開催した。約100名が参加し、ヨガと法話と坐禅を体験した。新たに僧侶とヨガ講師の対談時間を設け、仏教とヨガの共通点を探った。希望者に精進料理の昼食を用意し、食後には諸堂拝観も行った。

◇「知っておきたい禅と食」開催について

一般の方がたを対象に、禅宗における食への考え方を知らせていただく講座「知っておきたい禅と食」を平成29年10月21日（土）に東京グランドホテル（曹洞宗宗務庁）にて開催した。約40名の参加者は宗務庁職員による坐禅指導に続き普門寺副住職 吉村昇洋氏による「禅と食」の講義を受けた。その後、精進料理研究家藤井小牧氏による精進料理の昼食が応量器で提供され、食事作法も体験していただいた。

◇東京修行体験について

一般の方がたを対象に、仏教修行の体験を通じて日本仏教に触れていただくため、釈尊が悟りを開かれた成道会の日に合わせて、平成29年12月8日（金）に坐禅と念仏行を体験する講座「東京修行体験」を開催した。細川晋輔氏（臨済宗龍雲寺住職：坐禅指導）、吉田龍雄氏（浄土宗蟠龍寺副住職：念仏行指導）を講師として招き、約30名が参加した。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤を確立することを目的に、昭和52年以来、仏教音楽にちなんだコンサートや新しい仏教音楽の作品募集などを不定期で行っている。

平成29年度は、11月8日に紀尾井ホールにて「第18回仏教音楽祭」を開催した。曹洞宗梅花流の御詠歌を現代的にアレンジした楽曲、小林沙羅氏による平和ソング（作詞：夢枕獏氏）、アンドレアス=ブラウ氏によるフルート協奏曲、長原幸太氏と東京藝術大学学長澤和樹氏によるバイオリン協奏曲、林英哲氏による和太鼓協奏曲を、東京藝術大学副学長で平成28年度仏教伝道文化賞沼田奨励賞受賞者である松下功氏作曲、指揮で披露し、芸術性の高い仏教音楽で約600名の来場者を魅了した。

3. 三田落語会の事業について

仏教説話や寺社を舞台とする古典落語を交えて、近隣はじめ一般の方がたに楽しんでもらうと同時に仏教精神の涵養と仏教文化継承を目的とし、平成24年4月から当財団の主催として「三田落語会」を開催運営している。

平成29年度は4月、6月、8月、10月、12月、2月の計6回開催し、のべ1,911名の来場者があり、好評を得た。

4. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行っている。当財団が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって、人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献を果たしている。

平成29年度の会議室の公益目的利用実績（公益財団、公益社団等の使用）は210件であった。

II. 収益事業報告（収1）

◇収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間は一般に向けて貸与する事業を行っている。

平成29年度の会議室の一般目的利用実績（一般株式会社等の利用）は529件であった。

Ⅲ．事務報告

1．役員等に関する事項

理事・監事

(平成30年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
理事長 (代表理事)	桂 紹隆	非常勤	平成29年6月23日 (再任) 平成29年6月23日 代表理事再任	広島大学名誉教授
会長 (代表理事)	木村清孝	非常勤	平成29年6月23日 (理事再任) 平成29年7月31日 代表理事就任	東京大学名誉教授
常務理事 (代表理事)	青木晴美	常勤	平成29年6月23日 (新任) 平成30年1月1日 代表理事、常務理事 就任	元株式会社ミットヨ 取締役常務
理事	上山大峻	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	龍谷大学名誉教授
理事	門脇邦彦	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	日本空港ビルデング株式会社 名誉会長
理事	野村邦武	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	元富士銀行代表取締役常務
理事	生田忠士	非常勤	平成29年6月23日 (再任) 平成29年12月31日 代表理事、常務理事 退任	元株式会社ミットヨ取締役
理事	沼田恵明	非常勤	平成29年6月23日 (新任)	株式会社ミットヨ 代表取締役社長
監事	中野東禅	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	竜宝寺前住職
監事	松村智司	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	元第一勧業銀行取締役

※奈良康明氏は平成29年12月10日に逝去した。

※中谷忠雄氏は平成29年6月23日を持って理事を退任、同日付で評議員に就任した。

評議員

(平成30年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
評議員	山田一眞	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	金剛院院主
評議員	小出忠孝	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	愛知学院大学学院長
評議員	市川智康	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	池上本門寺学頭
評議員	塩入亮乗	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	浅草寺本堂部
評議員	平田史郎	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	国府台女子学院学院長
評議員	阿 純孝	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	圓融寺名誉住職
評議員	西本照眞	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	武蔵野大学学長
評議員	中川 徹	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	株式会社ミットヨ 代表取締役会長
評議員	中川敬史	非常勤	平成29年6月23日 (再任)	株式会社ミットヨ 取締役上席執行役員
評議員	中谷忠雄	非常勤	平成29年6月23日 (新任)	元株式会社ミットヨ 代表取締役専務

※沼田恵明氏は平成29年6月23日の定時評議員会の終結をもって評議員を退任。
同日付で理事に就任した。

顧問

(平成30年3月31日現在)

役名	氏名	常勤・非常勤の別	就任年月日	略歴
顧問	金光寿郎	非常勤	平成25年4月1日	NHK放送ディレクター
顧問	菅原伸郎	非常勤	平成25年4月1日	元朝日新聞こころ 編集長
顧問	松田正典	非常勤	平成25年4月1日	広島大学名誉教授
顧問	北畠典生	非常勤	平成25年4月1日	浄土真宗本願寺派勧学
顧問	高島孝範	非常勤	平成25年4月1日	仏教伝道協会前常務理事

2. 理事会・監事会・評議員会に関する事項

(a) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成29年6月7日（水） （平成29年度第1回通常）	平成28年度事業報告および収支決算報告の件 定款変更案承認の件 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する 規程」改定案承認の件 評議員会に提出する役員等候補者承認の件 貸金ベースアップの件 定時評議員会開催の件	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決
平成29年6月23日（金） （平成29年度第1回臨時）	代表理事の選定ならびに理事長、常務理事、 会長選定の件 常勤理事の報酬の件 「理事の職務権限規程」改定の件 諸規則諸規程改定の件	可 決 可 決 可 決 可 決
平成29年7月13日（木） （みなし決議）	定款の変更案を承認し、評議員会に提案する件 評議員会みなし決議の件	可 決 可 決
平成29年7月31日（月） （みなし決議）	木村清孝理事を代表理事および会長に 選定する件 「理事の職務権限規程」改定の件	可 決 可 決
平成29年11月16日（木） （平成29年度第2回通常）	生田忠士氏の代表理事および常務理事の辞任と 後任の代表理事および常務理事選定の件 生田忠士氏への常勤役員退任慰労金支給の件	可 決 可 決 可 決
平成30年3月27日（火） （平成29年度第3回通常）	平成30年度事業計画および収支予算書承認の件	可 決

(b) 監事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成29年5月30日（火）	平成28年度財産状況および業務執行状況	正確であることを確認

(c) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成29年6月23日(金) (平成29年度定時)	平成28年度事業報告および収支決算報告の件 定款変更の件 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に 関する規程」改定の件 「評議員会運営規則」改定の件 任期满了に伴う理事改選の件 任期满了に伴う監事改選の件 任期满了に伴う評議員改選の件	可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決 可 決
平成29年7月21日(金) (みなし決議)	定款変更の件 評議員会の決議があったものとみなされる 日の件	可 決 可 決

以 上

平成29年事業報告 附属明細書

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成30年6月
公益財団法人仏教伝道協会
代表理事（理事長） 桂 紹隆